

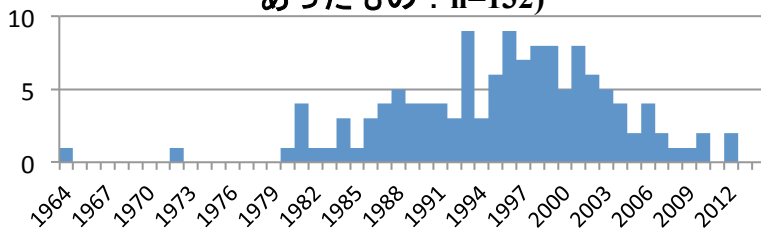
亜急性硬化性全脳炎(SSPE)の発生状況に関する研究

研究分担者： 国立感染症研究所感染症疫学センター 砂川富正

「診断基準・重症度分類策定・改訂のための疫学調査」

・特定疾患治療事業データの分析(全国)

SSPE発症年 (2003年度以降にデータ入力があったもの：n=132)



2014年までの情報として
2012年発症の2例が最も新規

(2016年5月把握時点)

(右図：結果は暫定)

沖縄県で流行時の推計麻疹患者数・SSPE発症者数：

1990年：16,500人・9人

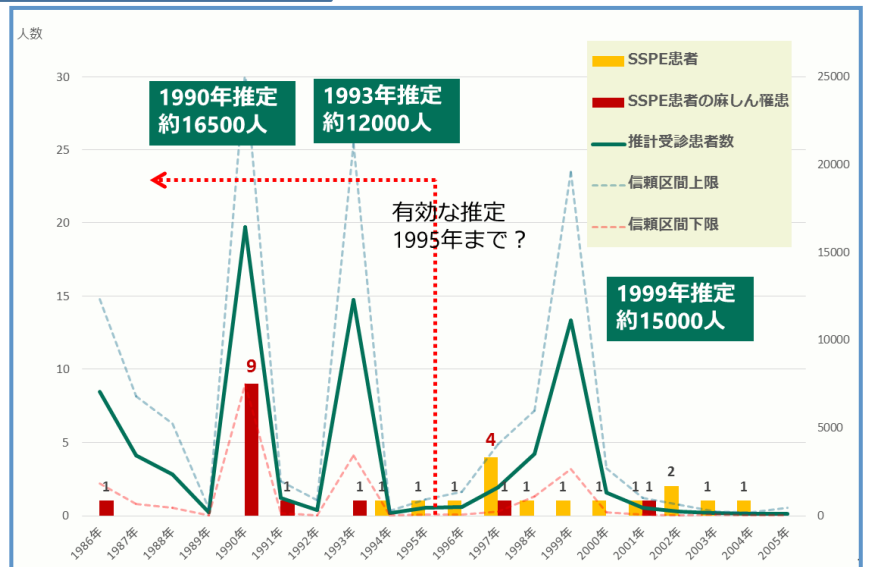
(10万人当たり**54.5**人)

・・・麻疹1,833人にSSPE1人の発症

1993年：12,000人・1人

(10万人当たり**8.33**人)

・・・麻疹12,000人にSSPE1人の発症



解 説

1. SSPE患者発症について、現時点での把握は2012年発症者2例が最も新規？・・・麻疹排除以降も継続的に観察する必要
2. 沖縄県における分析では、麻疹患者からのSSPE発症割合はこれまでの国内報告より**多く**、最近の海外の報告と**同程度の可能性**
3. **流行ごとに分析する必要、流行ごとに発生頻度が異なる要因の分析が必要**